

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぴじゅに首里城西校 I			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 10日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後等デイサービスの併設しており異年齢交流や多機能型としての支援が充実している。	・個の学年や特性などに応じて、異学年との交流にもチャレンジさせています。次年度小学校に上がる児童へは小学生のスケジュール(学習→遊び→集団療育活動)で生活させるなど先の見通しを持ちやすいような取り組みを行っています。	・児童の発達段階や特性を理解し、保護者との連携をとりながら他事業所やこども園、保育園などとの交流の場を設けて行きたい。
2	・複数の支援室や多機能トイレ完備など、適切な療育スペースが確保されている。	・活動内容やその時々の子どもの様子に応じて、最適なスペースを選択して療育活動を行っています。	・施設内の活動だけでなく、地域のポテンシャル(環境・人材)を活かした活動を計画していく。
3	・HPやSNS等を活用し、活動の様子の登校やイベント情報等の発信を行っている。	・ブログやSNS等の投稿の際は、専門業者も交えて、個人情報の厳守や分かりやすい投稿を心がけています。	・今後も継続して取り組みながら、職員紹介などの新しい投稿にもチャレンジしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会の開催、兄妹や地域児童との交流の機会。	・営業日が平日(土・日・祝日 定休日)のため、一定数以上の保護者のお集まりいただける日程を組むことが難しい。	・保護者会の開催は難しいかもしれないが、保護者の都合のよい日にいつでも参観ができる事を伝えていく。 ・兄妹児や地域との交流に関しては、全員参加ではなく、事前調査等を行うなど各保護者様と確認作業を行ってから検討していく。
2	・自事業所主催のペアレントトレーニング等の実施。	・自事業所主催のペアレントトレーニングなどは行っていません。モニタリングの際や個別にご相談を受けた際に、一緒に考えながら対応法の提案等をさせていただいています。	・関係機関からの講習会やイベント情報などを積極的に保護者へ告知していく。 ・職員が外部研修に参加し、車内研修等でペアレントトレーニングについても共有し職員全体の知識の底上げを行う。
3	・地域の児童発達支援センターとの連携、スーパーバイズや研修等を受ける機会。	・研修会等に参加したことはあるが、コンスタントに参加することは出来ていなかった。	・今後は早い段階で研修予定等を確認し、可能な限り参加できるように調整する。 ・必要に応じてスーパーバイズや助言等をいただける機会を作る。